

南極学特別実習 I(スイス氷河実習)企画実習

北海道大学グローバル COE(「統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成」)国際南極大学タスクフォースでは、環境科学院南極学カリキュラム南極学特別実習 I(スイス氷河実習)と連携して、博士後期課程大学院生の企画実習を公募します。スイスおよびその周辺国での研究活動を自主的に計画・実行すると共に、2009年9月に実施されるスイス氷河実習に参加するプログラムです。本プログラムに参加を希望する方は、以下の公募要項にしたがって応募してください。

公募対象:

本 GCOE に参加する北海道大学環境科学院および農学院環境資源学専攻の博士後期課程院生

公募人数:

2名程度(応募者多数の場合は、申請内容を参考にして選考および調整します)

応募締切:

2009年5月15日(金)

応募問い合わせ先:

杉山 慎(低温科学研究所) sugishin@lowtem.hokudai.ac.jp TEL: 011-706-7441

目的:

この企画実習の目的は、スイスまたはその周辺国の研究機関、およびアルプスに代表される自然環境を利用して、世界水準のフィールド環境科学を学び、経験することにあります。応募者自らが研究活動内容を提案することによって、各自に最も適したプログラムを実施することができます。またスイス滞在中には南極学特別実習 I(スイス氷河実習)に参加し、野外観測とデータ処理の手法を学び、氷河を例として地球規模の環境変動を直接観察します。自らが企画した研究活動と氷河実習を組み合わせることで、専門分野の先端知識や技術と、環境科学の幅広い視野を同時に手に入れてもらうことがこのプログラムの目標です。

企画実習とは:

学生のみなさんには、スイスまたはその周辺国での研究活動を提案して頂きます。研究活動は、海外研究機関への短期留学、アルプスの氷河や森林などでの野外調査、現地の研究者との共同研究など、自由な発想で計画して頂いて構いません。博士課程の研究課題を推進する活動であることが望まれますが、現在取り組んでいる研究の幅を広げ、将来の発展を見据えた活動も歓迎します。スイス氷河実習が9月1-11日に予定されていますので、その前後につながる日程で研究スケジュールを組んでください(スイス氷河実習の詳細は末尾の参考資料を参考にしてください)。

経費:

渡航費およびスイスでの滞在費(1ヶ月を上限)にして支給する予定です。滞在費の規定は GCOE 海外交流・海外調査支援に準じます。

研究成果:

企画実習およびスイス氷河実習における成果は、報告書、発表会、国際南極大学 HP などを通じて報告して頂きます。

応募要項:

以下の内容を A4 用紙 2-4 枚にまとめて提出してください。

(1) 研究活動の提案書

活動の目的、活動内容、予想される成果、博士研究課題との関連性などをまとめてください。必要に応じて図表を使って頂いて構いません。

(2) 準備状況

指導教員との相談、現地研究機関とのやりとり、現地での研究活動を意識した具体的な準備状況について記してください。

(3) 研究活動計画

日本を出てからの行動予定を具体的に記してください。移動手段、宿泊場所などもわかる範囲で記入してください。

(4) 経費

交通費(往復航空券、現地移動費用)、現地滞在費の見積もりを示してください。

応募にあたっての注意事項:

- ・日本をしばらく離れての活動になりますので、指導教員と十分に相談の上応募してください。
- ・現地の研究機関によるサポートが必要な場合は、各自で事前に交渉をお願いします。
- ・スイス氷河実習中は、実習活動をリードする役割をお願いすることになります。
- ・実習中の安全のため、可能な限り南極学特別実習Ⅲ(野外行動技術実習)を受講して頂きます。

参考資料:

2009 年度のスイス氷河実習案内

http://wwwice.lowtem.hokudai.ac.jp/~sugishin/tmp/iai/swiss_course/guidance2009.pdf

http://wwwice.lowtem.hokudai.ac.jp/~sugishin/tmp/iai/swiss_course/090409.pdf

2008 年度のスイス氷河実習報告

<http://wwwearth.ees.hokudai.ac.jp/IAI/swiss08/diary.html>